

# 「保育料の値上げ計画」ストップを



## 子育てしやすい羽村市めざしががんばります

日本共産党

日本共産党羽村市議団は一貫して、子育て支援をつよめるよう市への要求をつづけています。今回は、9月議会で「保育料の値上げ計画」ストップを求めた鈴木議員の質問と、先日市長にたいして提出した、保育料に関する「要望書」についてお知らせします。

### 「保育料の値上げ計画」はストップを 鈴木議員せまる



鈴木 「少子化克服が極めて重要になっているもと、保育料の値上げはおこなうべきでないと考えるが、どうか？」

市長 「保育園の運営には多額の一般財源が投入されており、(中略)市にとっては大きな負担となっていることから、保育サービスを受けている家庭と受けていない家庭との負担の公平性、他市とのバランスなどの観点から見直しを図るものであります。」

9月議会で鈴木たくや議員は、市が計画している「保育料の値上げ計画」をストップするよう、質問をおこないました。市長は、保育園の運営に多額のお金がかかっていることなどをあげ、保育料の値上げについて検討をすすめていくことを答弁。

これに対して鈴木議員は、「少子化を克服することは、社会保障制度を支えるためにも、地域社会の発展のためにも欠かせないことで、社会全体で子育て支援をつよめることが必要」との内容などを指摘し、保育料の値上げはおこなうべきでないと迫りました。

### 「保育料を引き下げて」が保護者の大きな願い

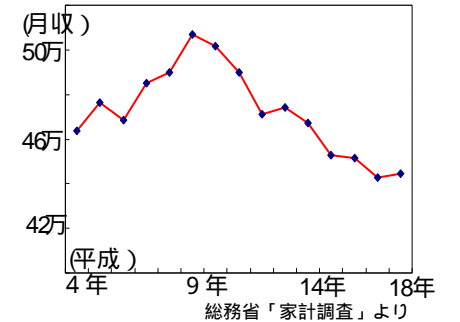
羽村市は、平成16年3月に保護者を対象にアンケートをおこなっています。この中で「市に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと期待していますか？」との設

問(複数選択)に対して、「保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減して欲しい」との答えが73.0%で、最も多くの声となっています。

また、子育て世代の収入はこの間、大きく下がっており(右グラフ)、暮らしは大変になっています。

市の「保育料の値上げ計画」は、保護者の願いと、暮らしの現状に逆行しています。

子育て世代の収入は激減



### 税金の使い方をきりかえ、子育て支援のいっそうの充実を

子育てや暮らしをもっともっと応援する市政にするため、日本共産党はいっそうの力をつくします。そのためにも、「羽村駅西口区画整理事業」など、むだが多く、市民の声を無視した事業を見直しし、暮らし守る仕事にお金がまわるよう、市民のみなさんと力をあわせ、頑張っていきます。

### 市長への要望書を提出 「保育園の料金表」の改定で値上げにならないように

「保育園運営費徴収基準額表」

市は現在、「保育園の料金表」の改定作業をおこなっています。これは今年、税金のしくみが変わったことにより、税金に連動する保育料は、表を変更しないと下がる結果になるからです。



「保育料は引き下げるべきだが、少なくとも『保育園の料金表』の変更にともない、保育料が引き上げられることのないように」との内容の要望書を提出しました。対応した担当者は「要望書にあるように、保育料が上がらないよう配慮しながら検討をすすめている」と答えました。(11月7日)



日本共産党羽村市委員会は見解を公表しました。

2007年11月11日 No.872  
発行 羽村民報編集委員会  
責任者 野崎 衷  
日本共産党羽村市議団のHP  
http://www.jcphanyu.org  
事務所 電話 579-2132 Fax579-2106

### 無料法律相談のお知らせ

11月13日午後1時30分からです。予約が必要です。鈴木議員の携帯電話まで。(080-1058-9450)